

自民・公明が
進める

大軍拡・大增税に

NO!を
突きつけよう

いなつき昌子
しやんこ

県議予定候補(小倉南区)

日本共産党

プロフィール/1966年北九州市生まれ●中井小・北方小、企救中、小倉東高校、北九州大学第2外国語学部卒●北九州市立中学校で英語教師を5年間勤める●1999年よりヘルパー、介護福祉士、ケアマネジャーの資格取得。●20年間高齢者、障がい者福祉の現場で働く●2021年より日本共産党北九州市議団事務局員。小倉南区母原在住。家族は母、1男2女。(高瀬菜穂子県議からバトンタッチ)



自公政権は、「敵基地攻撃能力の保有」を閣議決定しました。アメリカの長距離ミサイル・トマホークの配備を計画し、そのために軍事費をGDP2%、今の2倍にしようとしています。

いなつき昌子は、大軍拡・大增税に反対し、物価高騰から暮らしを守るために全力でがんばります。日本共産党をのびし、大軍拡・大增税ノーの声をあげましょう。

4月の県議選で審判を!

戦争をよびこむ危険

日本が武力攻撃を受けていなくても、アメリカが始めた戦争を、日本の「安保法制」で「存立危機事態」と認定すれば、相手国に対してトマホークなどを使って攻撃することが可能になります。その結果、相手国からの報復をまねく危険があります。

戦争の心配のない東アジアへ

今の政府に欠けているのは戦争回避のための外交です。日本共産党は、東アジアに平和の枠組みをつくる「外交ビジョン」を提案しています。
※右のQRコードよりご覧いただけます。



憲法と暮らしが壊れる

「敵基地攻撃能力」は歴代の自民政権が「違憲」としてきたものです。憲法を壊す閣議決定の撤回を求めます。

軍拡の財源は、庶民増税や、社会保障の削減です。「軍栄えて民減ぶ」にしてはなりません。

おかしくない?

維新・国民民主“敵基地攻撃能力”賛成 立憲民主「軍拡」容認を否定せず

維新・国民民主は「反撃能力を持っていることは必要」と、敵基地攻撃能力の保有を認める方向です。立憲民主は、軍事費の増額について明確に反対していません。

高瀬菜穂子県議から
バトンタッチ!



暮らしを守る政治を今こそ

- 中小企業支援し最低賃金時給1500円へ
- 消費税を緊急に5%へ減税
- 学校給食費無償に

いなつき昌子は全力!

